

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

YKK 創業者の吉田忠雄は、「善の巡環」という精神を事業活動の基本としました。YKK 二代目・YKK AP 初代社長である吉田忠裕は、この精神をもとに、時代に合わせて経営理念「更なる CORPORATE VALUE を求めて」を策定しました。そして 2021 年、私たちはこれらの企業精神を基盤として、自らの存在意義を表す「Purpose(パーパス)」を策定しました。社名である「AP(Architectural Products)」にこだわり続けながら、YKK AP は社会を幸せにすることができる会社を目指していきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
◎環境 ○社会 ○経済	製造所内CO2排出量削減	排出量 2021年 40 <sub>千t-CO2</sub> →2024年 32 <sub>千t-CO2</sub>
◎環境 ◎社会 ○経済	資源の循環を推進し社会に貢献 廃棄物の削減	削減量 2021年度に対して 2024年度 95%
○環境 ◎社会 ◎経済	高断熱窓の生産を通して、温室効果ガス排出量抑制、脱炭素社会の実現に貢献	高断熱窓化率(国内:戸建て住宅向け) 2021年 70% →2024年 90%

<パートナーシップ>

ガーデンエクステリアを提案する「エクステリアパーク」や窓の断熱性能を比較体感できる提案型施設「P-STAGE 八代」をはじめとした提案型施設を活用し、お客様、お取引先、地域社会などあらゆるステークホルダーの皆様との共創・共働を行っている。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。